

## 加速アクションプラン個票

<b>①実施項目</b>	24 基幹行政システム構築事業 ②No.36 実施状況 実施中					
<b>③加速プラン事業名</b>	財務会計システム管理事業					
<b>④所管課</b>	財務課					
<b>⑤現状と課題</b>	<p><b>【現状】</b> 平成11年度より導入した財務会計システムの更新を行い平成19年度より新財務会計システムに切り替えを行なった。実行計画との連携。契約管理の取り込みなどを行い、既存の機能に加え全庁統一的な財務系業務を一元的に管理するようにしている。</p> <p><b>【課題】</b> 平成23年度までに公会計を行なうこととされており、その取組に応じた財産等のシステムの整備が望まれる。</p>					
<b>⑥取組み内容</b>	<p>①各システムの利用と運用の充実</p> <p>②公会計への対応</p> <p>③他基幹システムとの連携促進</p> <p>④適正かつ効率的な執行の推進</p>					
<b>⑦年度計画</b>	H19	H20	H21	H22	H23	H24
平成19年度から平成21年度までは集中取組期間です。	執行稼働	決算稼働 評価稼働			公会計への対応	
					次期への見直し検証	
	①③④	→			①②③④	→
<b>計画値</b>	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
<b>実績値</b>	30,800	30,800				
	単位(千円)					
	単位(千円)					
<b>⑧目標</b>	<p><b>【計画値算式】</b> 用品調達基金に代わる仕組みとして、設計額と契約額の差金を凍結することによる財政的効果 <b>【契約差金額】</b> H19初年度500万円程度、その後毎年100万円づつの効果を計画</p>					
<b>⑨効果</b>	<p>実行計画調書と予算編成調書の整合性を図ることによる事務の軽減。 契約事務の効率化、事務の統一化による作業量軽減 財務事務の適正な執行</p>					
<b>⑩達成度</b>	H19	H20	H21	H22	H23	H24
	財務課会計システムにより差金凍結を実施	財務課会計システムにより差金凍結を実施	/	/	/	/
<b>⑪国集中改革プラン報告項目別全体計画(対H16) ※当該加速プランが含まれる項目について表記</b>						
【項目名】	H17	H18	H19	H20	H21	合計
計画値	/	/	/	/	/	0
実績値	/	/	/	/	/	0
差額	0	0	0	0	0	0
単位:千円						